

ALBIREX RACING TEAM レースレポート

2017年 全日本 F3 選手権 第4戦 鈴鹿サーキット

第2戦に続き、長谷川選手が3位表彰台を獲得

今月初めに開幕した2017年の全日本F3選手権は、鈴鹿サーキットで早くも第2大会が開催されました。この週末は国内トップフォーミュラカテゴリーの全日本スーパーフォーミュラ選手権や2輪のレースも併催されており、タイトなスケジュールの中で金曜日からF3の練習走行が行われました。

今大会は、土曜日に公式予選を1回行い、そのベストタイムで第4戦のスターティンググリッドが、セカンドベストタイムで第5戦のスターティンググリッドが決定します。セッション開始と同時にブルーノ・カルネイロ選手、長谷川綾哉選手の二人もコースイン。間に2度も赤旗でセッションが中断され、アタックのリズムを崩されたドライバーもいる中、カルネイロ選手は11番グリッド、長谷川選手はF3-Nの3番グリッドを獲得しました。

第4戦決勝は、土曜日最後のレースとなりました。午後4時30分にレースはスタート。カルネイロ選手は順当なスタートを切ると、前方で起きたクラッシュも回避してポジションを上げました。その後もコース上でのバトルを目指して前のマシンを追いかけますが、ラップタイムが安定せず思うように差を縮めることができず、7位でチェッカーを受けました。

長谷川選手は抜群のスタートを切って2番手に上がりますが、2周目にコースアウトを喫して再び3番手に後退。その後もマシンをコース外に落としてしまう場面もありましたが、レース後半は気持ちも立て直し、最終ラップに自己ベストタイムを更新してゴール。岡山での第2戦に続き、2度目の3位表彰台獲得となりました。

#21 ブルーノ・カルネイロ (AlbirexRT-WILSON: ダラーラ F315/ Mercedes-Benz 414)

予選 11位 / 決勝 7位

「スタートがうまく決まり、アクシデントをうまく回避できたこともあって7位までポジションを上げてゴールできたことはうれしいです。僕自身のドライビングも1戦1戦、着実にレベルアップができています。明日はさらによいレースができるように頑張ります」

#22 長谷川綾哉 (Alb 新潟第1ホテル Suger: ダラーラ F308/トヨタ・トムス 3S-GE)

予選 3位 / 決勝 3位

「練習走行ではなかなかいいタイムが出せていなかったのですが、まずは予選でいい位置につけられてほっとしました。スタートで順位を上げることができましたが、その後は自分のミスでまた3番手に戻ってしまいました。表彰台に上がったのは良かったですが、明日はトップに食らいついていけるよう、失敗したところを反省してレースに臨みます」

ALBIREX RACING TEAM レースレポート

2017年全日本F3選手権 第5戦 鈴鹿サーキット

カルネイロ選手、ライバルとのバトルを制してポジションアップ

鈴鹿サーキットで開催された全日本F3選手権・第5戦で、アルビレックスレーシングチームのブルーノ・カルネイロ選手がコース上でのバトルを展開してポジションアップ。第4戦同様に7位となりました。

公式予選でのセカンドベストタイムで決定した第5戦のスターティンググリッドは、カルネイロ選手が10番手、長谷川選手はF3-Nの3番手になりました。

日曜日の午後4時5分に17週の決勝レースがスタート。スタート直後に9番手に上がったカルネイロ選手は、1秒以上の差が開いていた8番手のマシンをじわじわと追い詰めていき、8周目の最終コーナーで一気に近づきます。そして9周目に入った1コーナーで勝負を仕掛け、オーバーテイク。8位にポジションアップを果たしました。レース後半はペースも安定し、そのまま8位を守ってチェッカーを受けましたが、レース後に上位のマシンにペナルティの裁定が下され、正式結果は7位となりました。

長谷川選手は、スタートでエンジンストールを喫しポジションを下げましたが、レース中に挽回。表彰台まであと一歩の、F3-Nの4位でゴールしました。

#21 ブルーノ・カルネイロ (AlbirexRT-WILSON: ダラーラ F315/ Mercedes-Benz 414)

予選 10位 / 決勝 7位

「ここまでF3で5レースを戦いましたが、その中でも一番いいレースになりました。スタートはそこまで良くなかったのですが、最後までベストを尽くしました。実は昨日のレースが終わった後、チームが新しいシートを作ってくれて、それもいい走りができた理由の一つです。レース中にほかのマシンとバトルができたことで、また僕自身の経験を積むことができました。富士大会ではトップ5に入ることをまずは目指して頑張ります」

#22 長谷川綾哉 (Alb 新潟第1ホテル Suger: ダラーラ F308/トヨタ・トムス 3S-GE)

予選 3位 / 決勝 4位

「スタートでエンジンストールしてしまい、ぎりぎりのところでスタートできたものの、3台ぐらいに抜かれてしまいました。終盤、2位・3位のマシンにはどんどん追いついていたので、スタートに失敗していなければ、その位置が見えていたかと思うと、もったいないレースをしてしまったと思います。マシンのセッティングも進んでいて、富士では今週よりいい結果が出せると思うので、まずは同じような失敗をしないように意識したいと思います」

中村寿和チーム代表

「長谷川選手は、事前に周りから注意されていたスタートで失敗してしまったことは十分に反省し、次に活かしてほしいですね。そのあとのリカバリーしようという頑張り良かったです。カルネイロ選手は、クルマに関してもドライビングに関しても、ようやくいろいろなものが見えてきたようです。暗い雲の中から、ピンポイントに光が差してきたように見えます。セクターごとにみると外国人ドライバーらしい速さを見せる箇所がありましたが、テクニカルセクションなどはまだ勉強が必要そうです。

次戦の富士大会は、事前の公式テストで2人とも経験済みのコースになるので、それぞれここまで以上の結果をだせるのではないかと期待しています。チーム一丸で頑張っていきたいと思います」